関西自然保護機構会誌 23 (2) : 195－196, 2001

原 著

春日山原始林の哺乳類

奈良教育大学 鳥 居 春 己

Mammalian fauna of Mt. Kasugayama. Harumi Torii (*Nara University of Education*)

はじめに

春日山原始林（以後，春日山と呼ぶ）における哺乳類調査はほとんど行われていないため，現在までに確認された種は中型獣を中心にわずかな種にとどまっている。世界遺産に含まれたことにより，コウモリ類やネズミ，モグラ類のように採集を必要とする小型哺乳類の確認はさらに遅れるのではないだろうか。春日山の哺乳類については，棲息種のリストと若干の記載にとどめざるをえない。なお，目撃記録は筆者自身のものと奈良教育大学付属自然環境教育センター刊行物「奈良自然情報」などに記載されたものである。

ヒミズ（*Urotrichus talpoides*）は春日山に隣接する高円山北斜面で捕獲されたことがある（前畑, 1996）。

ニホンザル（*Macaca fuscata*）は1939年頃には奈良公園に約500頭が棲息していた（神戸・久米, 1939）。1955年頃には2群が観察されていたが，駆除した訳でもないのに，まもなく姿を消した（前田, 1994）。その後，1970年代以降に数回の目撃記録はあるが，野生なのか，飼育個体の逃亡したものかは確認できていない（奥村, 1995）。

ニホンリス（*Sciurus lis*）は奈良公園平坦部では目撃されている。一般的にリスの棲息環境は松林あるいは落葉広葉樹林と考えられていることから，照葉樹林の春日山にニホンリスが棲息するとすれば興味深い。

春日山中の妙見宮の石段や峠の茶屋近くの歩道など，乾いた土や石段の上でムササビ（*Petaurista leucogenys*）の糞を確認した。また，1999年には中水谷の廃屋の天袋に潜むムササビを目撃した。Kawamichi（1997 ab）も奈良公園でムササビの食性や性成熟に関する調査を行っており，ムササビは奈良公園の平坦部から春日山にかけて棲息数の多い種の一つと思われる

アカネズミ（*Apodemus speciosus*）とヒメネズミ（*A. argenteus*）は春日山に隣接する高円山の北斜面で捕獲されているので，春日山にも棲息するもと考えられる。この地域のアカネズミの繁殖期は春と秋の2山タイプとみなされた。この他に，スミスネズミ（*Eothenomys smithii*）は高円山の標高440 mで捕獲されているので，春日山にも棲息するかもしれない。

タヌキ（*Nyctereutes procyonides*）は市街地から春日山中にまで広い地域に棲息する。平地では猿沢の池や奈良教育大学構内，志賀直哉旧宅付近で，春日山山中では柳生街道の入り口付近で目撃した。

春日山では既にイタチ（*Mustela itatsi*）は見られなくなり，チョウセンイタチ（*M. sibirica*）に代わっていると言われるが，確証はない。筆者は2001年春にも飛火野でイタチを目撃した。

春日山中でもシカ（*Cervus nippon*）は比較的容易に目撃できる。奈良公園の平地部の調査では1999年には1200頭と超えるシカが棲息してお

り，分布域を隣接する春日山にも広げていると考える。近年は春日山の多くの樹木にシカによる剥皮が見られる（前迫・鳥居，2000)。剥皮に加え，稚樹の採食による更新への影響など，春日山の保全を見据えた調査が必要であろう。

時にイノシシ（*Sus sucrofa*）も春日山の山裾で目撃することができる。夜は飛火野や能登川沿いの高畑団地にまで姿を見せている。春日山では泥浴びした後に体をこすりつけた泥で汚れたアカマツ（*Pinus densiflora*）などを見ることができる。

引用文献

前畑郁子．1996．照葉樹林と落葉樹林におけるネズミ相およびアカネズミの繁殖活動と個体数の季節変動について．奈良教育大学卒業論文．

神戸伊三郎・久米道民．1939．春日山動植物大観．個人出版．24pp.（前田（1994）より引用）．

前田喜四雄．1994．奈良公園の哺乳動物相，奈良公園の自然．奈良教育大学：120－123.

奥村一枝．1995．奈良公園のニホンザルについて，紀伊半島の野生動物，3：22－23

前迫ゆり・鳥居春己．2000．特別天然記念物春日山原始林におけるニホンジカ *Cervus nippon* の樹皮剥ぎ．関西自然保護機構会誌，22（1）：3－11

Kawamichi,T. 1997 a. Seasonal changes in the diet of Japanese giant flying squirrels in relation to reproduction. J. Mamm. 78 : 204－212

Kawamichi,T. 1997 b. The age of sexual maturity in Japanese giant flying squirrels, Petaurista leucogenys, J. Mamm. Soc. Jpn, 22 : 81－87